

今日の力

編集 岩田欣三

御茶の水キリストの教会

ボブ・マイズ
テキサス州 ラボック

8月21日(火)

神 様 に は で き る

聖書朗読 ヘブル 4:14～16

ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ヘブル 4:16

多くのバイブルクラスの先生と同じように、私は時々生徒に明白な答えを期待して質問することがあります。そして私は、より霊的な視点を与えるような別の考え方を提案するのです。子どもたちが素早くまっすぐ「正しい」答えにたどり着けば、クラスの時間は本当に短くなるでしょう。

ある水曜日の夜、祈りのレッスンでヘブル 4:16 に焦点をあて、「大胆に恵みの御座に近づく」という箇所を取り上げました。「自信とは何でしょうか？」と私は聞きました（訳者注：新改訳で「大胆に」と訳されている言葉が、NIV では「自信を持って」と訳されている）。「自分自身に対する自信」と「主にある自信」の違いを説明する準備のためでした。一人の生徒が、私がディスカッションの順序として期待していた通りの答えを言いました。彼は自信を「僕ならできると思う、僕ならできると思う」と表現しました。「僕」という言葉が神様を問題から取り除いてしまうというディスカッションの後で、私は彼に「神様ならできると思う、神様ならできると思う」というように改めて教えました。しかしその時、別の生徒が「神様がやってくれると知ってる、神様がやってくれると知ってる」と言って、私たち二人の間違いを正してくれました。私たちはよく、子どもの口から出てくる言葉に教えられることがあります」。(マタイ 11:25)

讃美歌 310

祈 り お父様。私たちの考えを、あなたのいと高き道に導き続けてください。
イエス様の御名により。アーメン。

ジャネット・ララシン
オハイオ州 パーネスビル

8月22日(水)

帯 を 締 め る

聖書朗読 I ペテロ 1:13～25

ですから、あなたがたは、心を引き締め、身を慎み・・・ I ペテロ 1:13

私が知っている、私にとっての成長する伝道者は、J・T・ロスです。彼は教育を受けた伝道者ではなく、神様への普遍の愛と、みことばを語りたいという思いを持ったただの農場経営者です。「あなたがたに宣べ伝えられた福音」(25 節)というペテロの言葉を読むたびに、私はJ・Tのことを思います。彼は袖をまくる人でした。それが彼の生き方でした。伝道することにも、病院で患者の手を握ることにも、私たちの豚の囲いの埃を払うのに手を貸すことにも——彼はいつでも準備ができていました。

J・T は「ですから、あなたがたは、心（訳者注：KJV 訳では「の腰」が入る）を引き締め」(13 節)という翻訳をよく読んだものです。それは子どものころの私を少し笑わせるような表現でした。今はその表現は私を考えさせます。「(腰を) 引き締める」とは人の服の裾を上げてベルトの中にかくし込み、何か行動が必要とされる時に裾をどけるということです。それはつまり現代の私たちが「袖をまくり上げる」という言葉で意味するのと同じことを表します。ペテロは私たちの心の腰を引き締め——袖をまくり上げ——るようにと言っているのです。

13～25 節の聖なる行いへの呼びかけは、この心構えに関する言葉から始まります。正しい行いは正しい思考から始まります。私は自分の口や手や目や足に対してそうしているように、自分の思考の習慣に注意を払っているのでしょうか？ 神様はそうしていらっしゃる。神様の目は表面的な習慣の下にある、人の心や思考を見られます。準備のできた思考を持つ人は、日々をイエス様のように、袖をまくり上げて生きていく人になります。

讃美歌 391

祈 り 主よ。私は今日あなたに心を向けます。私がどのように仕えることができるか教えてください。
イエス様の御名により。アーメン。

デイビッド・パウンズ
テキサス州 アマリロ

8月23日(木)

選 び 出 さ れ て

聖書朗読 I ペテロ 2:9～12

ハレルヤ。主の御名をほめたたえよ。ほめたたえよ。主のしもべたち。

詩篇 135:1

3歳の娘の父親として、私は毎日およそ36回も「どうして? パパ、どうして?」と聞かれます。ある朝、パジャマを着た娘が私の膝の上に座って、「どうしてパパは仕事に行かなきゃいけないの?」と聞いてきたことは、忘れられません。

簡単な答えは、私たちはテーブルの上に食べ物があり、頭の上に屋根があり続けるように仕事をしているのだ、というものです。しかし、その気になれば、この疑問はずっと深いところまで突き詰められます。私たちが日々していることをする理由とは何でしょうか? それは目的やアイデンティティの問題です。

今週の聖書箇所で、ペテロは私たちが選び出された人々——神の民であることを説明しています。それが私たちのアイデンティティです。私たちが教師、医師、上司、生徒、トラックの運転手、大臣、あるいは最も大変な仕事——母親と呼ばれたとしても、私たちが何者であるかは、私たちに付随する肩書よりも重要です。私たちは毎日、自分たちの仕事の多種多様な目的を達するために仕事をしています。しかしより重大なことは、選び出された主の民としての共有された目的(大きな「どうして?」)ではないでしょうか?

ペテロは私たちのために、要点をつかんで、ここに神の民が毎日ベッドから出る理由があるのだと言って、そこに鋭く焦点を合わせました。『招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。』(9節)。これは、あらゆる仕事を通じて輝く、すなわち手や口から出る言葉によって神様のあらゆる良いことを表すことを意味する、美しい目的です。毎日が、表すことであり告げることなのです。神の民は私たちが日々することを、神様をこの世界に表し、告げるためにするのです。

讃美歌 第二編 45

祈 り 神様。私たちのお父様。私たちに目的と機会を与えてくださっていることを感謝します。私たちがその両方を理解するのを助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

デイビッド・パウンズ
テキサス州 アマリロ

8月24日(金)

寛 大 な 心

聖書朗読 I ヨハネ 2:7～11

見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんというしあわせ、なんという楽しさであろう。

詩篇 133:1

「私が少年だったころ」、寛大な心を持ったある男性は言いました。「私たちが好きだった川の泳ぎ場の一つが鉄道橋の下にあり、そこは歩いて700メートルくらいのところでした。私たち少年たちはよくレールの一つに乗って誰が一番長くバランスを崩さずに歩けるか試したものです。ある日、私ともう一人の少年が反対側のレールに立って並んでいました。私たちは同時に、自分たちのバランスを保とうとそれぞれに腕を振り回して、自分たちが手をつなげば、二人ともより簡単に安全に歩けるということに気が付きました。何年も後になって、私は人生のバランスを失っているような人々を見ました。所有物を手に入れることについて、欲深く利己的になる人々もいます。不運の中にあって、他人は苦々しく思ったり怒ったりします。その時、私はその事がしみじみとわかります。人生のレールの上で、私たちは他の仲間が自らのバランスを保とうとするのを手伝う時に、自分自身のバランスもより保つことができるのです」。

神様に仕えることを求める時に、私たちは力を得るためにお互いに頼り合います。私たちは一人で行動するとき、十分に強くはいられません。成長するクリスチャンは、兄弟姉妹の寛大な心から激励を受け取るのです。

讃美歌 第二編 157

祈 り 神様。今日、愛の意味とそれを実行することを私たちに教えてください。
イエス様の御名により。アーメン。

ヘレン・M・ヤング 1991

8月25日（土）

赤も、黄色も、黒も、そして白も

聖書朗読 ヨハネの黙示録 5

彼らは、新しい歌を歌って言った。「あなたは、巻物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、言語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、

ヨハネの黙示録 5:9

私の娘たちが小さかったころ、私は彼女たちが聖書学校の歌「イエス様は世界の子どもたちを愛しています——赤も、黄色も、黒も、そして白も」を歌うのが好きではありませんでした。なぜなら、この歌が肌の色の違いを強調しすぎていると考えていたからです。私たちは韓国に住んでいますが、私はもちろんアジア人のことを「黄色」として見たりはしませんし、自分のことを「白」として見たりもしません。でも、何年後になって、私は娘たちのうちの少なくとも一人が、この色が髪の色のことを表していると考えていて、私の心配を少しも理解していなかったと知りました。なんと多くのことを教えられた瞬間だったのでしょうか！

神様の世界は多様性に満ちていて、神様はご自身が創られたすべての人々が来てご自身のことを知るのを望んでおられます。神様は世界のすべての子どもたち（そして大人たち）、すべての色、すべての陰を愛しておられます。すべての部族、言語、国民そして人々が神様の王座の前に立って、心から「世界のすべての子どもたちのために死んでくださった小羊をほめたたえます」と言う時は、どれほど素晴らしいものとなるのでしょうか。

讃美歌 537

祈り 親愛なる神様。私たちが住んでいる世界の創造主よ。この世界とそこに住むすべての人々の美しさに感謝します。すべての人があなたの王座の前で頭を垂れ、そして言語も部族も国も関係なくすべての人があなたを真実の生ける神であると讃美できるように、あなたのみことばをこの世界と分かち合うのを助けてください。その犠牲がそれを可能とする小羊の名によって祈ります。

イエス様の御名により。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

8月26日（日）

奇跡の後に

聖書朗読 マルコ 6:45～52

・・・彼らの心中の驚きは非常なものであった。というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は固く閉じていたからである。

マルコ 6:51～52

あなたはここ最近を通じて祈りに責任を持っていますか？

弟子たちはちょうど5千人の給食の奇跡を見たばかりでした。彼らはお腹を空かせた群衆に与える食べ物を全く持っていませんでした。できる限りを尽くして、彼らが用意できたのはたった5つのパンと2匹の魚でした！しかしイエス様はそれを取って、それに感謝を捧げてから、それを割きました。それは5千人以上のお腹を満たしました！その残り物を集めるのはどれほど圧倒されるようなことだったでしょう。

前はそこになかった食べものが、今は自分の手にあり、籠に入っているのです。彼らはそれを経験しましたが、理解してはいませんでした。イエス様は弟子たちを船に乗せて休みを与えました——彼らはまだ何が起きたのか整理できないでいました。イエス様は彼らのところに来て「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。」と言いさえたのです。ついさっきあんな奇跡を見た後で、どうして現在や未来を恐れることがあったのでしょうか？ たった今、自らの先生が水の上を歩いているのを見たとき、どうして勇気を失うことがあったのでしょうか？ 仕事を得了後、赦しを得了後、無くしていた書類や正しい家を見つけた後・・・私たちは次の危機、次の嵐にばかり目を向けて、「わたしだ。恐れることはない」という言葉を心から聞くことはないのです。

讃美歌 273B

祈り すべてを創られた主、救い主。私たちが嵐に焦点を当ててしまい、あなたが私たちの人生の中で働かれている素晴らしさを忘れてしまうことをお赦してください。私たちがあなたを見ることができるよう助けてください。私たちの心を柔らかくしてください。

イエス様の御名により。アーメン。

エミリー・Y・レムリー 共同編集者